

# 東京センチュリーの歴史

当社は業界大手2社の合併後、事業ポートフォリオを変革し、従来型リースから「金融・サービス企業」へと進化を遂げてきました。次の10年は、お客さまから一層信頼される事業パートナーとなるべく、付加価値の高いサービスの創出に不断に取り組み、変化を創造する企業グループへの進化を目指します。

## 1969

伊藤忠商事・第一銀行(現 みずほ銀行)・日本生命保険・朝日生命保険の4社の共同出資により設立

### 旧センチュリー・リーシング・システム

強み

- ・伊藤忠グループが有する多様なビジネスノウハウ
- ・情報通信関連機器を中心としたリースサービス

## 両社の強みを活かし、合併

### 旧東京リース

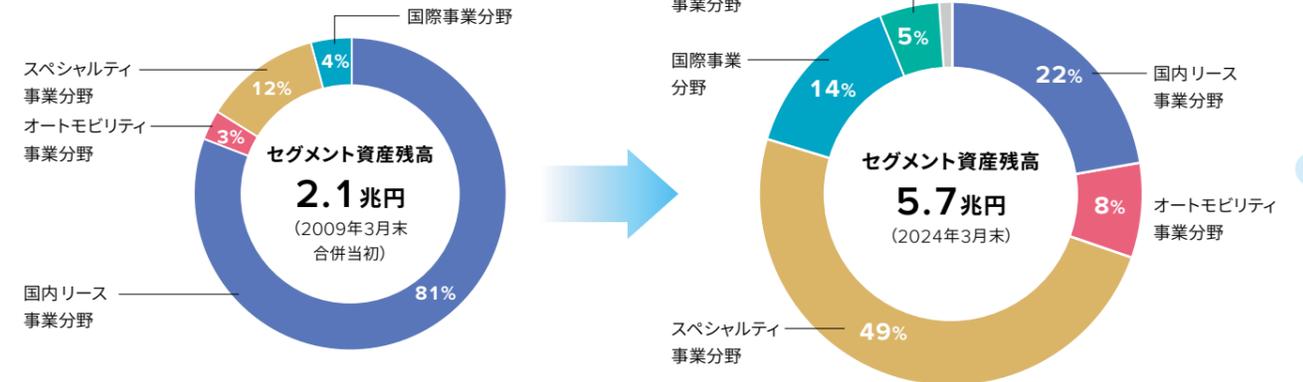
強み

- ・旧第一勧業銀行の広範な顧客網
- ・優良顧客とのパートナーシップ戦略の源流

## 1964

日本勧業銀行(現 みずほ銀行)、勧銀土地建物(現 中央日本土地建物)、南桜商事(現 中央日本土地建物)の3社の共同出資により設立

### 事業ポートフォリオの変遷



## 2009-

### リース業界大手の合併 「東京センチュリーリース」の誕生

事業ポートフォリオの見直しが必要と感じた「旧センチュリー・リーシング・システム」と「旧東京リース」の経営陣は合併を決意。2009年に「東京センチュリーリース」が誕生しました。

## 2020-

### NTTと資本業務提携 パートナーシップ戦略の強化へ

NTTグループとの共創ビジネスを拡充することで、主にデジタル・モビリティ・不動産・環境エネルギー・グローバルの分野において協業が加速しています。

## 2023-

### 変化を創造する企業グループへ

お客さまから信頼されるサービス・事業を創出し、将来も持続的な成長を続けるため、当社の強みをさらに強化していくとともに、自らを変革し変化を創造する企業グループを目指します。

## 2016-

### 「東京センチュリー」へ社名変更 リース会社を超えた存在へ

2016年10月、新生「東京センチュリー」がスタートしました。環境に配慮した循環型経済社会の実現に貢献することを経営理念とし、高い専門性と独自性を発揮する「金融・サービス企業」として、幅広い事業展開を指向しています。